

都市再生整備計画 事後評価シート  
布佐駅南側地区

平成30年 5月

千葉県我孫子市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県	市町村名	我孫子市	地区名	布佐駅南側地区			面積	12.7ha
交付期間	平成24年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成30年4月	交付対象事業費	1,157百万円	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業		道路(区画道路整備事業)、道路(自転車・歩行者専用道路整備事業)、道路(街区道路整備事業)、公園(街区公園整備事業)、下水道(公共下水道整備事業)						
	提案事業		公共下水道整備事業						
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	耐震性防火水槽設置事業	基幹事業要件を満たさないことから、提案事業に修正したため			影響なし		
		提案事業	公共下水道整備事業	提案事業要件を満たさないことから、交付対象事業から削除したため			市単独費で整備したため、影響なし		
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(区画道路整備事業)	接道しない土地があったため、区画道路を2路線追加した			影響なし		
提案事業		耐震性防火水槽設置事業	基幹事業要件を満たさないことから、提案事業に修正したため			影響なし			
交付期間の変更		当初	平成24年度～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし			
		変更	-						

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	生活環境の向上による満足度	%	20	H14	50	H28		84	○	あり なし	各事業の結果、地区内の利便性が向上したことから、生活環境も向上し、目標達成に至った。	-
指標2	公園まで徒歩5分以内で行ける世帯割合	%	2	H24	99	H28		99	○	あり なし	街区公園整備事業で2箇所公園を整備し、また、区画道路整備事業で道路整備を行ったことから目標達成に至った	-
指標3	駅から都市計画道路への接続時間短縮	分	6	H24	2	H28		2	○	あり なし	布佐駅と都市計画道路3・5・15号線を直線で結ぶ、未整備であった都市計画道路3・5・23号線の整備を行ったことから目標達成に至った	-
指標4										あり なし		
指標5										あり なし		

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	土地利用面積	ha	0	H24				1.1			都市基盤施設の整備を行った結果、未利用地の宅地利用が進んだ。	-
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

4)定性的な効果発現状況

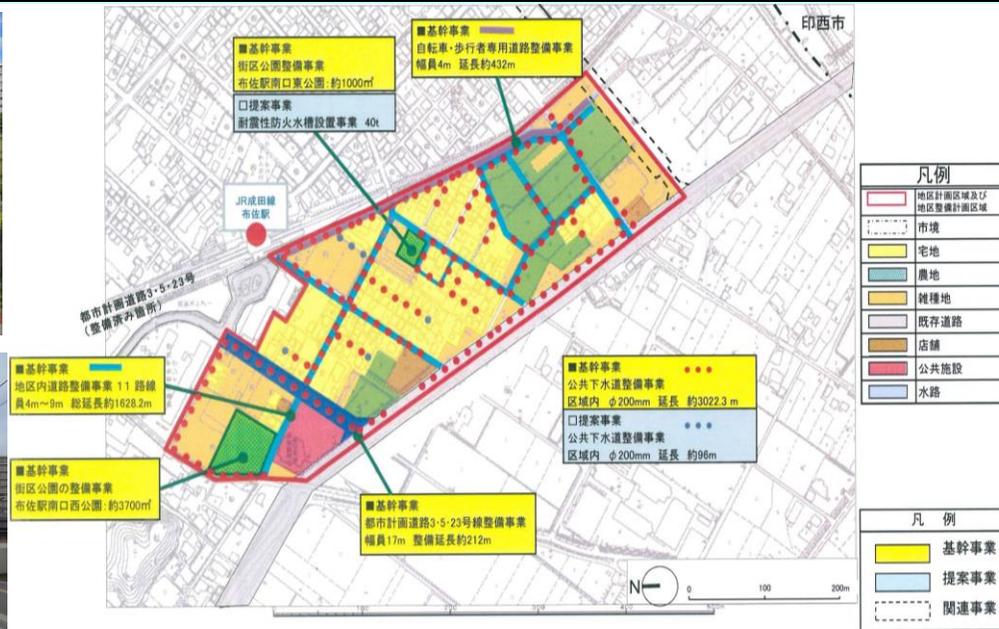
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		-
住民参加プロセス	まちづくり通信の発行		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		○
持続的なまちづくり体制の構築	～布佐駅南側地区～地区計画及び運用基準を策定した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		○

建築計画及び開発行為を実施しようとする方々へ、地区計画の説明を行い、良好な住環境の維持に努める

## 様式2-2 地区の概要

### 布佐駅南側地区(千葉県我孫子市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:文化の香る 緑豊かな安心して暮らせるまちづくり 目標1:安全で災害に強いまちづくり 目標2:緑化推進と文化活動にも活用できる公園整備による良好なまちづくり	生活環境の向上による満足度	単位: %	20 H14	50 H28	84 H30
	公園まで徒歩5分以内で行ける世帯割合	単位: %	2 H24	99 H28	99 H29
	駅前から都市計画道路への接続時間短縮	単位: 分	6 H24	2 H28	2 H29
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化	事業以前の課題についてはおおむね改善された。 しかし、道路整備による優先道路変更について周知が十分でないため安全上の懸念が生じている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	効果の持続を図るため ・新規公園の整備や、街路樹の植栽など地区内の緑化を図ったが、樹木の剪定等定期的に点検を行い、利用者の支障にならないよう維持管理を行う必要がある。 ・道路整備に伴い、側溝の布設を行い、単独費で幹線水路へ接続する排水路整備工事を行ったことにより、道路冠水等の水害が軽減されているが、定期的な点検等維持管理を行う必要がある。 今後の課題 ・自転車歩行者道路2路線が未整備のままであることについて ・2路線の整備は用地を買収するにあたり、家屋のかかる部分等があったため、用地取得費に比べ補償費が莫大な金額となることから、未整備となった。今後家屋の建て替え等に合わせた整備が必要である。 ・交通安全上の懸念については、地元自治会を通して周知を行う。 ・地元住民の方に愛着を持ってもらえるよう持続的なまちづくりについて配慮していく。